

《 第 57 号 》

発行：NPO富士北麓まちづくりネットワーク  
発行日：2018年1月1日  
責任者：代表理事 飯田 勇夫  
住所：〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田965-4  
制作：広報渉外部会  
事務局電話&FAX：0555-23-0202  
http://www.geocities.jp/mkin1962/

# ぼちぼち



NPO 富士北麓まちづくりネットワーク会報

## 「2018年 年頭に寄せて」 行動を起せば 「幸運」に巡り逢える

代表理事 飯田 勇夫

皆さん新年明けましておめでとございます。  
今年は「戌年」干支の順番では最後から2番目ですが、どうやらこの順序は、元旦に神様のところに到着した順番」で決め

られたとか？当初は猫も参加していたが、子（ネズミ）に騙されて到着する日を「元旦の翌日」と教えられ、猫が到着した頃には誰もおらず、そこでようやく騙されたことに



片岡伸介画伯 肖像 第74回独立美術展

気付き、怒つた猫は今でもネズミを追いかけていると桃太郎でお馴染みの申（さる）西（キジ）戌（犬）を引き連れての鬼退治も干支を12角形にすると鬼門の方角が申・酉・戌となり鬼を寄せ付けない守護神とされているらしい。

正月なればこそ神話や伝説を肴に一献傾けるのも日本人ならではの文化ではないだろうか。

昨年は、我が富士北麓まちづくりネットワーク（愛称「富士まちネット」）も国際交流・地域活性の大きな要として「インターナショナルともだちフェスタ」を開催。初めての企画となるため不安を抱えながら、NPOの会員はもとより、ふれあいセンターや青少年センターを利用されている多くの方々の協力も得ながら暗中模索で進めた

が、いざふたを開けて見ると想定200人で用意した食材も午前中から各売場で「完売」が続出・・・スタッフ一同、腹を空かせての奮闘に協賛していただいた市の国際交流課職員もびつくり。富士吉田国際親善委員会の会長からも「NPO会員の皆さんの結集力と実行力は素晴らしい」と、お褒めの言葉を頂いた。



インターナショナルともだちフェスタ

た。来館された外国の方はベトナム・ネパール・韓国・中国・アメリカと多岐にわたり、富士北麓以外の南アルプス市からも親子連れが来られ、昨年10月30日にNPO交流研修を行った「フードバンク山梨」（南アルプス市）のご協力によるものと感謝する次第である。

### 行動が生んだ

#### 片岡伸介常設展示ギャラリー

昨年度NPOの事業計画で教育文化の向上や美術絵画学習に触れ合う場として、青少年セン

### ポチたまの部屋

2017年の最大のニュースは、「モリ・カケ問題」だった。夏、安倍首相の古里・山口県のソバ屋からモリとカケが消えたというジョークは、この問題を極める的確に皮肉っている。1月に始まる通常国会では、安倍首相の昭恵夫人と加計学園の加計孝太郎理事長、それに「モリ問題」で名答弁をして国税庁長官に出世した佐川宣寿氏を証人喚問するべきだ。しかし、政府側は拒否するに違いない。野党はそんな政府の姿勢を追及しつつも歓迎した方がよい。なぜなら、「何か裏がある」という国民の疑惑が次の総選挙まで残るからだ。（A）

ターに片岡伸介画伯の絵を展示活用してはどうだろうか。そんな思いから市に要望してきた結果、承諾を頂き富士吉田市教育委員会主催の「片岡伸介回顧展」が終了した後、回顧展コーナー「インターネットを務められた國島先生にご協力をいただき、約30点の貴重な絵画を青少年センターロビー、2階通路及び談話フロアーに展示する運びとなった。

赤い屋根は、新年早々にして芸術的な雰囲気彩られたアートギャラリーに変身することができ、利用者の皆さんからは「おすげーじゃん、なに！これは」「間違えるようになったネ、明るく感じるよ！」「ワ〜美術館に来たみたい、友達を誘って見に来てほしい？」。そんな会話がセンター内に響き渡っており、完成披露を待たず利用者の関心は上々。実は4年近く前に話は遡るが、富士吉田市新屋地区で生産されたお米ミルキークイーンを片岡伸介画伯に提供されていた武藤様より、絵画を青少年センターに展示されては...との話が発端となり、当時NPOの法村代表理事、斎藤副理事そして私の3人で絵の提供者であり、ご遺族あたる白崎桃子様宅にお邪魔したのである。

当初1〜2枚の絵画を寄贈頂けるのかと想像して出向いたものの、話が進むと「お好きなだけお持ちください」が、最終的には「3〜400枚ございませうので、一度石神井台のアトリエにお越し下さい」に話が変わり、そのスケールの大きさに参加した我ら一同顔を見合わせ、右往左往したことを今でも鮮明に覚えている。

その時の夢が、今こうして白崎様御夫妻をはじめ、富士吉田市や國島先生のご尽力により実現し、1月13日には常設展示場としての青少年センターで完成披露を祝う運びとなった。

平成30年の初行事となるが、干支では最後から2番目の戌も、いろはかるたの最初は「犬も歩けば棒に当たる」考えてじつとしてばかりいないで、とにかく何でもいから行動を起こしてみれば思わぬ幸運にめぐり逢う事の例え通り、NPO富士まちネット各メンバーの行動力から実

を結んだ輝かしい年の第一歩ではないだろうか。



## 赤い屋根が「ギャラリー」になった！

### 國島 康敬

赤い屋根に大きな、かわいい絵が飾られました。

片岡伸介という画家の絵です。

片岡先生の絵が、富士吉田市に寄贈され、2017年12月3日まで市民会館で回顧展を行い、その後この赤い屋根に30〜40点ほど展示されています。

片岡先生は富士の麓に住む事を願っていましたが、2012年に病気で他界してしまいました。76歳でした。



ボート遊び

遺族の妹である白崎桃子様が市に寄贈され、堀内市長が市の文化芸術に役立つことを祈念し、修理、額装、選定、図録、展示等々のコーディネートを國島に依頼。3年半の歳月の後に、この展示（回顧展）となりました。

片岡先生が所属していた独立美術協会は、個性豊かで、実力は日本で1〜2を競う美術団体です。文化勲章、芸術院会員等日本の頂点に先生方と共に片岡先生は活躍されていました。

その創作活動は厳密に計算され、厳しく時間のかかる作画法をあえて取り入れた構図法、また色彩法は明暗法をベースに独自の色彩調和法を持ち、緻密に計算された画面、人物の配置は的確なバランスと美しいパステルトーンによる絶妙の変化と調和があります。

片岡先生の絵を見て何か心に感じたものがありましたらうれしいです。

展示は全作品のほんの一部ですが、皆様が何か感じた事、聞きたい事などがありましたら、アンケート箱をお願いします。

皆様と共に芸術を語り合う機会を設けたいと思います。



風景A 第47回独立美術展

## 「国際ナショナルともだちフェスタ」を開催しました！

H W

市から青少年センターの管理を委託されて7年。手探りで始めた運営の中で、毎年秋の一日、青少年センターのロビーでほのぼのコンサートを開いていた。ヴァイオリンとピアノであったり、フォークソングであったり。けれどもなかなか集客がむつかしい。そこで今年は、我がNPOの基調の一でもある国際交流を考え、この富士北麓地域に生活する外国人の方々ととの交流会を開くことにした。名付けて「国際ナショナルともだちフェスタ」。夏の終わりに実行委員会を立ち上げ、日本文化の体験、ステージ出演者、出店の依頼等考え、できあがったチラシはあちこちに配布し、都留文科大の留学生にも声をかけ、市の国際交流課の方たちも外国の方の相談のためブースを設けてくれることとなった。

前日の準備も終え、いよいよ当日はたしてどのくらいの方が来館して下さるか。それだけが心配だった。



12月2日、開館と同時に館内には人があふれ、書道や着付け、絵手紙の体験コーナーもいっぱいだった。ホールで行ったもちつき体験も杵を持つ人が切れることなく、食堂で出されるフォー（ベトナム料理）にも大勢の人がならんだ。思ってもみなかった展開で、スタッフはただただ対応に追われ、あっという間の一日だった。たくさんの方が来てくれて良かった、みんな楽しかったと言ってくれたとスタッフ一同喜んだ。が、そのたくさんの方々への細かい対応ができなかった。一方通行の日本文化の紹介になっていた。スタッフこそ外国の方と交流をしたいのにそれもできなかった。反省点は多い。初めての試みではあるが、地域にたくさんの方の外国の方がいるという事、そして交流の場を求めているという事は十分わかったように思う。これからどういう形でNPOとして国際交流を深めていくか、そこから考えていこうという出発点がわかったように思う。





## 特定非営利活動法人富士北麓まちづくりネットワーク 第8回研修旅行 報告

報告者・渡邊敏雄

日時 平成29年10月30日～31日（一泊二日）

行先・テーマ「山梨県内の主な施設の見学

及び認定NPO法人フードバンク山梨での研修会」

参加者数 NPO会員・15名

《一日目》 午前8時、集合場所青少年センターを出発。途中で一名乗車するのは何時もの事で、御坂峠は15名で越えた。

9時30分。山梨日日新聞社ビル着。早速、館内見学。階段利用が多く6階に着いた時は息も絶えだえになった。スタジオ見学。ラジオ放送を生で体験した。次は、県庁の視察だった。早川県議のお出迎えを戴き、議場で記念写真を撮り、会議室で県民課、国際親善課の活動説明を伺った。

昼食は、勝沼の秋山さんの紹介でぶどうの丘にて洋食をいただいた。午後のスケジュールのお膳立ては、全て秋山さんのお世話になった。

石段を百段登った大善寺。ワイナリーの地下を見学したが、闇の棚に眠る葡萄酒の運命は？ 秋山さんの柿、葡萄をはじめ果物王国の味を堪能した。

宿泊先、ヴィラ本栖には、午後5時に着いて、ゆっくり湯に浸かった。

《二日目》 午前9時出発。下部温泉金山博物館見学。坑夫は戦国時代強力な戦力だった事を知った。次に富士川クラフトパークに寄ったが、広い敷地に人影はまばらだった。昼食は、南アルプス市「ビストロホサカ」。二日続けてのハンバーグになったが美味しかった。「フードバンク山梨」では、米山けい子理事長の業務実績、直近の活動等つぶさに伺った。配送倉庫にも寄り作業の厳しい現場を実感した。

最後の見学場所は根津記念館、ゆっくり池の鯉に餌を与え研修を締め括った。



YBS ニューススタジオ



県議会議場にて



フードバンク山梨  
米山けい子理事長と



## オルケスタ若草活動(報告)

オルケスタ若草 齋藤

12月23日 スイートベリ  
ー勝山においてクリスマス会  
が開催され、オルケスタ若草  
は演奏に伺いました。アニメ  
やクリスマスソング、AKB48  
のヒット曲などを演奏して、  
一緒に歌ったりおどったりと  
楽しい時間をすごしました。



## 事務局だより

NPO事務局長 渡邊敏雄

10月22日 ふじよしだフォーラムが台風の中開催。

本NPOは6名の出席。県繊維工業試験所の職員による講演があり好評だった。総司会者の齋藤容子も見事に役目を努めた。

10月30日31日、NPO研修旅行、15名参加、初日朝一はYBS本社見学、六階まで階段を登りしんどかった。2番目は県庁舎見学のあと国際親善課と交流した。昼食は、勝沼ぶどうの丘レストラン、その後、大善寺、ワイナリーと周り、本栖湖畔の宿泊所、ヴィラ本栖にはpm5時に到着

二日目は、下部金山博物館、富士川クラフトパーク、昼食は、南アルプス市、ピストロホサカ、フードバンク山梨、根津記念館、詳細に付いては別に掲載。

12月2日(土)青少年センターに於いて国際ショナルともだちフェスタについては、別に掲載する。

12月3日(日)第33回北麓雀健倶楽部富士吉田大麻雀大会開催。

32名の参加。

年3回の大会は堅持し、取り決めを順守しつつ、焦らず奢らず継続して参ります。今後のご支援をよろしく願いいたします。

12月4日(月)青少年センターに片岡伸介画伯の絵画が搬入され展示始まる。

年明け1月13日(土)午後、オープニングパーティー開催。会員の出席をお願いします。



ふじよしだフォーラム 2017  
(富士吉田市HPより)



## 市民ふれあいセンターだより

ふれあいセンター センター長 佐藤雄三

新年明けましておめでとうございます。

今年もスタッフ一同ところを一つにして、利用者の皆さんに明るい対応を心がけて頑張っていく所存です。本年もご指導ご鞭撻よろしく願い致します

新年度になります。今年もふれあいセンターまつり、教養講座、親睦の麻雀囲碁大会の継続を中心に、富士山自遊大学及び文化音楽スポーツ等、各種教室の利用場所として気持ちよく使ってもらえるように、提供していきたいと思ひます。

今回は、富士山自遊大学の利用について紹介します。

エンジョイフラダンス	午前 第1,3,4水曜日	たのしく3B体操	夜 第2,4火曜日
姿勢美ウォーキング	午前 毎週木曜日	3B体操なかよしJr	午前 第4土曜日
韓国舞踊	夜 第2,4金曜日		

以上の5教室を、ふれあいセンターにて利用しています。

今年も4~5月に募集があると思ひます。

試しに参加してみてもどうでしょうか？

他の教室等については、またの機会に紹介したいと思ひます。

会報「ぼちぼち」は、インターネットホームページでもご覧いただけます。

URLは、

<http://www.mfi.or.jp/machizukuri/>です。

また、会報に掲載する記事は、随時受けております。

普段の生活の中で考えている事や身近な出来事、是非皆で共有しましょう！

広報渉外部会メールアドレスは、[mkin1962@ybb.ne.jp](mailto:mkin1962@ybb.ne.jp)まで、お待ちしております!!



新年おめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

12月のはじめから気温の低い日が続き、この冬は寒さが大変です。さらに雪もという事になるともっと覚悟が必要です。水道管の凍結などに特に気をつけて、広い館内外をしっかりと管理して行きましよう。

10月3日 消防署と市役所の職員の方々に協力を頂き防災訓練を行いました。

スタッフ一同真剣に取り組みました。

12月2日 インターナショナルともだちフェスタ

一所懸命に準備と呼び掛けをしたかいあって約380名の参加者があり、国際的なイベントの初回として大成功でした。多くの外国の方々、地域の方々に喜んでいただくことができました。

12月9日 昨年好評だった子ども講座「干支の正月飾りをつくろう」今年は犬のかざりを作りました。

12月の親子講座として、粘土でつくろう「来年の干支」を12月9日(土)11:00と13:00の2回開催し13組の方々に参加していただきました。2018年の干支である犬を皆で作って楽しい時間を過ごしました。

丸くて可愛い顔や、細おもてのイケメン犬やみんな顔や体つきが違いまさにオンリーワンの完成です。



予告

1月13日 片岡伸介常設展示の完成披露

2月 子ども講座「バドミントン体験」

3月 子ども講座「絵てがみ体験」



NPO事務局の渡辺敏雄さんが、平成29年度 富士吉田市文化功労賞を受賞されました！

おめでとうございます！

**文化功労者** わたなべ としお **渡辺 敏雄**さん(ときわ台・79歳)

40年余り、川柳文芸に携わった経験を生かし、市の川柳の普及に努め、後進の指導にも熱心に取り組んでおられます。現在は、県川柳協会理事や文化協会の役員の大任を担い、富士吉田川柳会で初心者会の会を定期的に行っており、また、新聞文芸欄への会員の投句活動も積極的に推進されています。



(広報ふじよしだ 11月より抜粋)

ふれあい川柳会

もう一人の私何処かへ行きたがる

病んでいる時だけやさしい妻の声

女子会はインスタ映えで店選び

老いの日々惜しむ一年矢の如し

生活の汗で悔いなし川柳記

増税も保育費無料待ちどおしい

命がけ国境抜ける北兵士

優しさがそつと伝わるお釣り銭

園児らの演技に涙発表会

三線の音が盛り上げて昼の酒

川崎ふみこ

渡辺武人

梶山 妙

本間りょう

堀内孝春

土屋今朝枝

中澤 一夫

相川あくと

渡辺てるみ

渡邊 一丸